

平成14年度 和歌山県文化奨励賞

みなみ むら とおる
南 村 透

住 所：和歌山県海南市
出 身 地：和歌山県有田市
生 年：昭和31年

備中であり、国内でも個展活動を精力的に展開する予定である。

◎業績及び経歴

氏は昭和31年、有田市に生まれた。

昭和46年に県立海南高校を卒業後、武蔵野美術短期大学に進学して油絵を専攻するも、講義でリトグラフについて学んだことから、版画に興味を持つこととなり、大学卒業後は和歌山へ戻り、和歌山市内の画材店に勤めながら、独学で版画を学ぶ。

昭和56年には、和歌山のギャラリー白石において初の個展を開催し、その後も数年に一度の割合で、東京のシロタ画廊、和歌山のギャラリー百寛などでも個展を開催し、好評を博す。

また、氏は多くのコンクールにも積極的に出品し、昭和62年と平成3年には和歌山版画ビエンナーレ展で入選し、同じく平成3年には紀の国絵画大賞展で特別賞を受賞。その後も平成4年にアゼリア賞、平成5年にはエンバ美術賞展において優秀賞を受賞するなど、その作品は非常に高い評価を受けている。

氏は、エッチングなどの従来の版画の技法だけにとどまらない、様々な技法を取り入れた現代版画の創作に強い意欲があり、学生時代から趣味としていた写真を版画に取り入れた作品を数多く創作している。平成9年からはコンピューターという、さらに新しい技法を用いた作品の創作を始め、その作品は非常に独創的であり、県下における現代版画のパイオニアとして、将来を非常に嘱望されている若手版画家である。

近年は、海外進出を視野に入れ、米国ロサンゼルスを拠点とするパートナーを得て、個展開催準

■主な表彰歴等

- 平成3年 紀の国絵画大賞展特別賞
- 平成4年 アゼリア賞
- 平成5年 エンバ美術賞展優秀賞